

郡山市地域ケア推進会議の意見等について

【地域ケア会議等からみえてきた課題・意見】

令和6年4月から令和8年3月までに郡山市地域包括支援センターで開催された地域ケア個別会議・地域ケア圏域会議から上げられた地域課題や対応策について、郡山市地域ケア推進会議で意見交換を行いましたので、その結果を郡山市介護保険運営協議会に提出します。

地域課題		課題解決に向けた意見	
1	認知症の方への地域支援サービスの不足	(1)	相談窓口の周知徹底（包括・オレンジカフェ・初期集中支援チーム・認知症疾患医療センター等） ・何かあったら行ける場所をつくる ・認知症のワンストップ相談窓口をつくる ・相談窓口の周知・共有をはかる ・オレンジカフェ等の更なる周知を図る
		(2)	認知症初期からのネットワーク構築 ・かかりつけ医から介護へつなげる ・対応薬局で対象の方を把握したら、担当窓口へつなげる ・企業とつながり、勤務している介護者に対して支援する ・早期発見、早期介入、サポート体制づくりをする ・家族を含めた関係者の情報共有する
		(3)	地域の見守り体制ネットワーク構築 ・地域での見守り体制を構築する ・子ども・働き世代への認知症サポーター養成講座を開催する
		(4)	意識変容・啓発 ・当事者の声を発信する ・若年性認知症「希望大使」を設置する ・認知症初期の例をわかりやすく伝える ・軽度認知障害かもしれないと気づける方法を専門職や当事者の方の協力を得ながら周知する ・早期受診につながるよう治る認知症（水頭症、甲状腺機能低下症など）、予防できる認知症の周知をする
2	身寄りがない方や身近に支援者がいない方の増加	(1)	働き世代からの人生会議の周知啓発 ・ACP講座の活用をすすめていく ・わたしの未来ノートの活用方法の講座を活用する ・成年後見制度について知る機会をつくる
		(2)	見守り支援のネットワーク構築 ・身寄りのない方を近所で見守る体制の強化をはかる ・町内会・地域での見守り活動の強化をはかる ・お助け隊のようなサポートシステムをつくる
		(3)	つながりづくり（地域） ・若い人でも誰でも（特にシニア世代）集まりやすいイベントや仕組みづくりをする ・生活支援コーディネーターの活躍の場を増やす
		(4)	つながりづくり（多職種連携） ・多職種連携の大切さを周知する ・専門職のアセスメントから連携を広げる ・成年後見制度の適切及び迅速な利用に努める
		(5)	ガイドラインの必要性 ・本人、支援者の負担を軽減できるツールの作成をする
3	高齢者を支えあう地域力の低下	(1)	集まれる場所（接点）づくり ・民間施設・空き家を活用して、歩いて行ける場所づくりをする ・イベントを開催し、三世代交流の接点づくりをする ・生涯活躍の場や機会づくりをする
		(2)	町内会加入促進のための取り組み ・入りやすい町内会づくりをすすめていく ・町内会活動のPRをする ・町内会加入者が増加している好事例を取り上げ、関係機関と共有しながら町内会加入促進を図る
		(3)	交通手段確保に向けた取り組み ・タクシーの相乗り等、民間を活用する ・小規模地区内での巡回バス等、公共交通機関等に働きかけをしていく ・移動販売等の誘致をする
		(4)	見守り体制づくり ・日頃から、お互いにあいさつをする ・回覧板を手渡しにする ・定期的な訪問支援・電話連絡をする

地域課題		課題解決に向けた意見	
4	医療と介護の連携のしにくさ	(1)	人生会議の普及啓発 ・わたしの未来ノートの配布、活用をする ・わたしの未来ノートの増刷やデジタル化を検討する ・本人・家族を含め、老後の生活（終末期）へのイメージづくりのため、市民へACPを普及する ・医療・介護専門職へのACPの普及をする
		(2)	終末期にまつわる情報提供 ・市民（本人・家族）が終末期医療の具体的なイメージを持てる機会をつくる ・訪問診療等を希望する場合の相談先（連絡先）を周知する
		(3)	在宅での看取り体制づくり ・かかりつけ医を持つことの普及啓発をする ・医師に対する在宅医療の教育をする
		(4)	医療（病院）連携・情報共有 ・医療相談窓口を明確にする ・情報連携プラットフォームを設置する（二次医療機関・介護施設・消防等） ・退院調整ルールヘエンディングノート（わたしの未来ノート）を連携させる
5	複雑な課題を抱える高齢者世帯の増加	(1)	孤立しないための見守り体制・つながりの構築 ・町内会、近所、活動範囲にあるスーパーやコンビニ等身近な場所の見守りを強化する ・高齢者だけでなく、地域住民みんなが参加できるイベントを開催する ・民生委員、町内会など地域に根ざした組織と警察、包括等行政機関がつながりを持つ ・ICT（MCS等）を活用し関係機関で情報共有する
		(2)	支援者のスキルの向上・強化 ・複雑な課題を抱えた高齢者の支援方法について関係機関のアセスメントや支援の方向性を共有する ・支援が自己流、一方通行にならないよう、支援者向けの研修を通して相談支援機能を強化する ・医療、行政、地域が一つになりチームを組んで課題の解決に取り組む ・高齢者の支援におけるAI等ICTの活用を図る
		(3)	引きこもる理由や背景の情報収集 ・引きこもる要因を丁寧にアセスメントし、関係機関と共有していく
6	地域の役割を担う人材の不足	(1)	地域で世代間交流の機会を増やす ・学校、企業、事業所に地域活動参加の働きかけをする ・お祭りなどを通して若い世代と交流する ・町内会加入者が増加している好事例を取り上げ、関係機関と共有しながら町内会加入促進を図る
		(2)	「生きがい」に関する好事例を集める ・ひとりひとりの「生きがい」の違いを知る、認める機会をつくる ・市きらめき出前講座に「生きがい」のテーマを追加する
		(3)	人材育成 ・人材育成システムを構築する ・リーダー要件を柔軟なものにする（複数でリーダーを担う、期間を短くする）
		(4)	教育で「地域づくり」「生きがい」「老いること」について考える機会をつくる ・義務教育で「地域づくり」「生きがい」について学ぶ機会を設ける ・子どものうちから「老いること」を学ぶことでいずれくる老いを我がこととしてイメージする